



大森 らん 初段

平成14年8月14日生まれ。
江田島町出身。
山本賢太郎六段門下。日本棋院関西総本部所属。小学校1年から江田島子ども囲碁教室の石下光雄氏から囲碁を習い、中学校1年の時、女流囲碁アマチュア広島県大会で優勝、全国大会出場を果たす。中学校2年でプロ棋士になることを決意。日本棋院関西総本部の院生になり、呉支部で勉強を続ける。平成30年度関西総本部院生リーグで総合得点3位(女子では1位)の成績を収め、日本棋院から「女流特別採用推薦棋士」として選ばれ、広島県で初めての女流棋士となる。平成31年4月同じく「女流特別採用推薦棋士」で史上最年少でプロとなった仲邑重三段(当時10歳)との「華の10代対決 らんvsすみれ」と称された互いのプロデビュー戦は日本中の注目を集め、見事勝利を飾った。



第3回フマキラー囲碁女流ブレインズマッチ優勝
江田島市出身
大森らん 初段
凱旋報告



第3回フマキラー囲碁女流ブレインズマッチが6月9、10日の両日、広島市中区で行われ、ベテラン・中堅の実力者たちとの熱戦を制し、大森らん初段が優勝を飾り、8月16日(水)に明岳市長を表敬訪問しました。

この日は、大森初段が小さい頃に、囲碁を教わっていた日本棋院江能支部の野崎支部長、猪子副支部長、中下事務局長も駆け付け、大森初段が幼少時代に載った新聞記事を見ながら、思い出話とともに今回の優勝を称えました。

日本棋院江能支部の皆さんは「来年は江田島市誕生して20周年。江田島市の囲碁の歴史と伝統を消さないように大会を開いたり、小さい子どもたちに囲碁を教える機会を作り、盛り上げていき

たい。その時には大森初段にはぜひ来てほしい」と話しました。

大森初段は『囲碁の魅力は老若男女関係なく楽しめ、世代や国を越えた交流ができること。これからは小さい頃に江田島子ども囲碁教室の石下光雄先生や日本棋院江能支部の皆さんに、囲碁の面白さを教えてもらったように、囲碁の普及にも力を入れていきたい。囲碁を始めるまでは難しく感じる方が多いが、最近は囲碁のルールを気軽に楽しく覚えることのできる「囲碁であそぼ!」というアプリもあるので、ぜひ遊んでみてほしい』と話してくれました。

これからも大森初段の更なる飛躍と活躍を応援しています。



▲大森初段が教えてくれた囲碁を楽しく覚えらるアプリ QRコード

江田島市公式LINE 質問に答へ、受信設定すれば詳しい情報をお届け! @etajimacity

広報えたじま 第227号 (毎月1日発行)
発行/江田島市 編集/江田島市企画部企画振興課
〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地
☎0823 (43) 1630・FAX0823 (57) 4433

「広報えたじま」は、ホームページでご覧になれます。
広報えたじま

